

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



30.2.6
陸幕広報室

報道関係者各位

墜落した航空機搭載機器内の放射性物質の測定結果について

標記について、測定が完了し、身体への影響がないことを確認しましたのでお知らせします。

記

放射性物質は航空機器に含まれているものであり、一般的には、人体に影響を与えない程度ではありますが、現地において安全に万全を期すため、放射線強度の測定を実施いたしました。

九州補給処副処長以下12名(九州補給処5名、第4特殊武器防護隊7名)をもって2月6日(火)の0120から0202の間、測定を行い、異常がない(※)ことを確認しました。

放射線測定 結果	着地点の 放射線値	30m×30m 0.04～0.06 μ Sv/h
	飛散した 部品付近の放射線値	200m×100m 0.04～0.05 μ Sv/h

※ 着地域付近の放射線強度は自然放射線値レベルであり、他の地域の放射線強度(0.04 μ Sv/h程度)と同様であることから、身体への影響はありません。

問い合わせ先

陸上幕僚監部広報室 井上、安達(担当)

(03-3268-3111 内線40082)